

SCE・Net の活動と成果

■業務受託

- ・**大学関係**：プロセス制御講義(2010～2013年)、化学工学基礎講座(2008年～)
- ・**官公庁関連**：戦略的基盤技術支援事業技術評価(2013～2015年) 事故事例チェックポイント整備(2015年)
- ・**化学会社**：化学プラント事故防止指導(2007～)、機能性ポリマー製造プロセス構築のための技術指導(2010年)、評価シミュレーション技術指導、高粘性流体の混合(2011年)、合成アルコール触媒・分離精製技術指導(2011年)、発酵プロセスガス回収・精製技術指導(2013年)、窒素ガス回収コンサルティング、工場法令対応調査、工場予防保全コンサルティング(2014年) など
- ・**装置メーカー**：マレーシア現地製造会社・業界状況アドバイス(2010年)
- ・**制御器メーカー**：次世代制御システムに関するコンサルタント(2011～2013年)、
- ・**その他**：粉塵爆発防止技術指導(2012年)、下水処理発電プロセスに関する技術指導(2012年)、工業化解析(2013年)、バイオマス化学プロセス調査、化学技術出張講義(2014年)、各種特許調査(2015年) など

■公開講座

- ・社会人向け公開講座(2009年～) 初心者のための化学工学入門講座(2014年～)

■出版執筆

- ・安全研究会：AIChEのCCPS(The Center for Chemical Process Safety)との共著「事例に学ぶ化学プロセス安全」出版
- ・装置材料研究会：「プラント損傷事例集」CD 版市販
- ・エネルギー研究会：「図解新エネルギーのすべて」改訂3版および韓国語版、「熱とエネルギーを科学する」出版

■産学官連携

- ・隔年でインケム、グリーン・イノベーション EXPO の産学官マッチングフォーラム司会を担当(2017年はインケム)
- ・化学工学会年会の化学産業技術フォーラムに参加、シンポジウムを開催(2017年は東京、2016、2018年は関西) PO2012 産学官マッチングフォーラム司会を担当(2012、2014年)
- ・化学工学会年会にて化学産業技術フォーラムに参加、シンポジウムを開催(2011～2015年)

■研究会

安全研究会：CCPSが発行しているPSBを翻訳し、AIChEのHPに掲載すると共に、記事についてのコメント集を「談話室」としてSCE・NetのHPおよび「化学装置」(㈱工業通信)に掲載しています。2015年には「事例に学ぶ化学プロセス安全」を出版し、この本を教本に安全指導者育成を目的とした「製造技術者のための安全講習会」も実施しています。

エネルギー研究会：“マイナスカーボンエネルギーシステムへの効果的アプローチ”を目指して、各自が調査した内容を発表し、討論を経て学会発表や雑誌投稿を行っています。現在、バイオマス燃焼排ガスのCCSの最適化や、再生エネルギーの発電比率が大幅に上がった中での電力貯蔵や、微生物による炭素固定の可能性、等のテーマに取り組んでいます。

神奈川研究会：神奈川地域在住者が中心になり、エネルギー・環境などの技術テーマや歴史・社会問題などの文化テーマを取り上げ、研究と討論を行っています。その成果は、学会や雑誌にも発表しています。研究関連の見学等も取り入れ、外部との意見交換を行っています。

環境研究会：一つの柱は中国環境問題への取り組みです。中国の環境科学技術論文誌から題材をとって、「中国環境科学技術情報サービス」を発行し、法人会員企業様等にお届けしています。また、各メンバーが興味を持つテーマ…身近な環境問題、企業、グローバルな問題(湖沼汚染、CO₂の有効利用、環境経営(CSR 第三者意見提言、SDGs)など)…を取り上げ、研究会で深耕して、年会等での発表のほか、社会への提言、企業支援・助言をしています。

装置材料研究会：装置材料の腐食・防食技術等に関する情報交換を目的に、研究会を開催するとともに、プラント材料に関する損傷事例を継続的に収集し、「プラント損傷事例集」(CD-ROM)を出版しています。2016年、2017年、2018年3月の化学工学会年会に於いては、損傷事例集の発表とポスター発表いたしました。

福島問題研究会：福島第一原発事故関連の諸問題についてシニアエンジニアが取り組むべき課題を探るために、公開資料や現地調査による情報収集を行なっています。廃炉・汚染水対策については2017年年会シンポジウムでの発表や化学工学会への提言を行ないました。

■教育グループ

社会人を対象にした公開講座では、「原子力・放射能基礎論」を続けています。化学企業技術者向けには、「初心者のための化学工学入門」、「安全講習会」を開催しております。また、化学工学科の現役学生との交流を目的に、「ケミカルエンジニアリング・カフェ」を開いております。さらに、個別ニーズに合わせた出前講義も適時行っております。

■外部発信・交流グループ

技術懇談会：年間で6回開催しており、招待した外部講師からはシェールガス、最新プラスチック材料、AI技術、地球環境、放射線医療等の講演を戴きました。会員講師からも多岐にわたる講演を戴き、会員間及び会員以外の方とも幅広く懇親・交流の場を作っております。

窓：2017年度では年間で、レポート4件、エッセイ7件の計11件の投稿があり、HPに掲載され、会員はじめ多くの人に読まれています。現在は掲載文への感想などもHP上に掲載できるようになっており、更に交流の場を広げています。

沿革

- 2000年4月設立
- 2000年NEDO委託業務受託
- 2002年安全、環境、エネルギー研究会発足、技術懇談会発足
- 2003年「進化する化学技術」出版
- 2004年装置材料研究会、教育研究会発足
- 2005年お茶の水女子大学「化学・生物総合管理の再教育講座」で7科目開講
- 2007年交流会発足
- 2009年知の市場に参画 社会人向け公開講座開講
- 2010年創立10周年記念
- 2011年神奈川化学研究会発足、化学工学会第76年会化学産業技術フォーラム初参加
- 2014年福島問題研究会発足、初心者のための化学工学入門講座開講
- 2016年創立20周年に向けた取り組み検討開始

会員構成

(2018年8月現在)



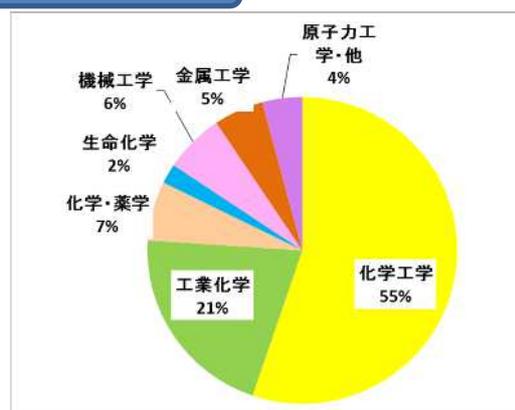
法人会員 16社



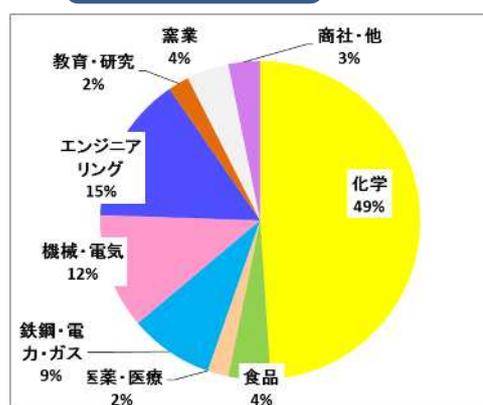
個人会員 104名

個人会員構成

専門分野



出身業界



取得資格

博士号取得者	工学 23名、理学 1名、農学 1名 化学工学上席技士 4名
技術士	化学 11名、金属 2名、水道 1名、原子力・放射線 3名
公害防止管理者	大気 1種 21名、水質 1種 29名、騒音 4名、振動 1名、主任 1名
高圧ガス製造保安責任者	甲種機械 10名、甲種化学 21名、第一種冷凍機械 1名、ガス主任技術 2名
ISO 関係資格	8名
危険物取扱者（甲種）	28名
廃棄物処理設備管理者	4名
エネルギー管理士・ボイラー	エネルギー（含む熱）管理士 10名 1級ボイラー技士 1名 2級ボイラー技士 1名
放射線取扱主任者	第1種放射線取扱主任 7名、X線作業主任 1名、原子力主任技術 1名
環境カウンセラー・計量士	3名、作業環境測定士 3名、環境計量士 2名、一般計量士 2名
衛生管理者	4名、統括 1名、労働安全・衛生コンサルタント 2名
その他資格者	18名

公益社団法人 化学工学会 産学官連携センター SCE・Net

URL : <http://www.sce-net.jp> 連絡先 : E-mail : scenet@scej.org TEL : 03-3943-3527